

移植経験者とそのご家族からの手紙

# think transplant

陶いっぱい  
の『ありがとう』  
手紙に込めて書いたんだ。

きっとあなたに  
届きますように。



## 臓器を提供して下さった方のご家族様へ…

はじめまして、私は40代前半で、皆様の本当に大切なお家族様の臓器のおかげで、何とか生き延びる事ができた者です。本当に感謝しています。

私は20代から難病のウィルソン病を患い徐々に肝硬変が進行しました。病院に通い、いよいよ移植しないと助からないという段階で生体肝移植を考えました。しかし気持ち空しく家族全員不適合でした。そして、微かな望みを残し脳死肝移植登録をしました。

登録してから半年経ち、1年、1年半経っても移植に関する情報の連絡は来ませんでした。身体に負担をかけないよう会社は休職しました。毎日毎日連絡を待ちながら日々を過ごす、希望の光が見えないつらい日々でした。

臓器移植ネットワークに登録してから2年と数カ月が経ち、ようやく私に連絡が来ました。移植手術の難しさ、回復までの道のりの大変さはあるものの私からすれば希望の光のような連絡でした。

しかしながら皆様にとっては考えられないほどの哀しみの日だったことと思います。

臓器提供して下さった皆様のご家族様（ドナー様）は私より少し年下だったとのことで、まだまだ夢や希望、将来設計など数々あったであろうと思うとなんと云ったらよいのか。ありがとうございます、心から感謝します…頂いた臓器を大切にします…ドナー様とともに一生懸命生きていきます…そういった感謝の言葉しかありません。

私には家内と子供が3人います。私は肝臓を人様から頂いた者としてこの臓器を大切に、これから生きていきます。子供達に命の大切さを教えながら、また「臓器提供意思表示カード」の存在を広めていけたらと思います。さらに自分に何かあったときには自分の身体の一部が人様のお役に立てるよう心身ともに準備しておきます。

本来ならば直接馳せ参じ深々御礼申し上げたい所ですが、ルール上、できないとのことでお手紙にて御礼申し上げます。この度は本当にありがとうございました。

大切なお家族様（ドナー様）の生前の考え方や趣味など教えてもらえれば幸いです。乱筆乱文にて大変失礼いたしました。



この度は、ドナー様の大切な体の一部を主人に提供していただき、本当にありがとうございました。感謝してもしきれないくらいの思いでいっぱいです。ドナー様は主人だけでなく、私達家族みんなの恩人です。

主人は長いこと難病を患っていましたが、発病から10年くらいは普通に生活を送っていました。ところが3年くらい前から肝機能の数値がいよいよ悪くなり、このままでは長く生きられないということで家族が病院に呼ばれ、先生から移植の話を書くことになりました。

生体移植のドナー候補であった私と主人の兄が検査を行いました。2人とも不適合となり、やむなく脳死肝移植登録をすることとなったのですが、移植数の少なさを目のあたりにし、このまま移植できずに弱って行って死んでしまうのでは…と2人して絶望したのを覚えています。

主人は移植までの間、自分に何かあっても残された家族が困らないようにと、エンディングノートを必死で書いていました。家族でどこへ行くにも何をすることも「これが最後かもしれないから…」と、覚悟しながら精いっぱい楽しみました。それでも夜、子供達の寝顔を見ながら、「もっとみんなと一緒にいたい。子供の成長を見ていたい。」と言って、泣いて眠れない日が何日もありました。私も子供達もどうしてあげることもできず、ただつらい日々でした。

そんな中、突然病院から「第一候補です。」という連絡が来ました。不安と希望で体が震えたその日のことは、一生忘れることはできません。

手術中、私はずっと考えていました。ドナー様のこと、そしてドナー様のご家族

様のこと。ドナー様は意思表示カードをお持ちだったと伺いました。きっととても思いやりのある、優しいお方だったのではないのでしょうか。

私たちは決して移植を受けた日を忘れません。

主人のお腹の大きな傷跡を見る度に、いつもドナー様のことを考え、「我々は命をわけていただいたのだ。」と自分に言い聞かせ、改めて大事にしていかなければ、と身を引きしめています。

手術から約3カ月経ち、多少数値に良い悪いはありますが、主人は順調に回復に向かっています。顔色もすごく良くなり、何年かぶりに頬に赤味がさしたり、でこぼこだった爪がきれいに生えてきたり、食後の不調がなくなったりと、主人の中でドナー様は一生懸命頑張ってくださいています。これからもともに生き、一生大事にしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

家族みんなで感謝の気持ちを常に忘れず、この先も元気に頑張って生きていきます。

最後になりますが、ドナー様のご冥福を心よりお祈りいたしております。

妻より



ドナーファミリーからの返信は  
think transplant Vol.32でお読みいただけます。



移植希望者13,000人のうち、1年間で移植を受けることができる人数は約300人。移植を受けられずに亡くなる方も多いのが現状です。

今回の執筆者の待機期間は2年数カ月。その間、ご本人やご家族がどのような生活を送り、どのような気持ちで過ごされていたか…お手紙に書かれていますね。

臓器を提供する、移植を受ける。私たちはどちらの立場にもなる可能性があるから、1人ひとりが家族と話し合い、意思を表示することが大切です。臓器提供の意思は、NOでもいい。だから、ご協力をお願いします。

## 意思表示の方法

臓器提供の意思は、以下の5つで表示できます。



健康保険証



運転免許証



マイナンバーカード



意思表示カード



インターネット

インターネットで臓器提供に関する意思を登録すると、IDの入ったカードが発行され、いつでも意思の変更や削除ができます。

グリーンリボンサポーター  
募集中!

グリーンリボン世界的な移植医療のシンボル。移植医療の普及啓発に賛同する方をグリーンリボンサポーターと称し、Facebook公式ページの「いいね!」など支援を呼びかけています。

[www.facebook.com/GreenRibbon.jp](http://www.facebook.com/GreenRibbon.jp)

既にたくさんの方が臓器提供に関する意思を表示しています。それは、自分が助ける側にも、助けられる側にもなり得るから。あなたも、表示しませんか?

### 自分の意思を選択

Step 1

1~3のいずれかの番号に○をしてください。どの意思も等しく尊重されます。

### 1.2を選んだ方のみ

### 提供したくない臓器を選択

Step 2

提供したくない臓器があれば×をしてください。

### 脳死後に提供できる臓器

心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球(角膜)

### 心臓が停止した死後に提供できる臓器

腎臓・膵臓・眼球(角膜)

### 1.2を選んだ方のみ

### 特記事項を記入

Step 3

皮膚・心臓弁・血管・骨など臓器以外も提供したい方はその旨を、また親族への優先提供の意思を表示したい方はホームページなどで詳細をご確認のうえ、「親族優先」と記入してください。

### Step 4 氏名などを記入

家族署名欄がある場合は、ぜひ家族へこの意思を伝えて署名をもらってください。記入した後は財布などに入れて持ち歩き、いざというときに第三者が確認できるようにしましょう。提出や郵送の必要はありません。

注意事項 保険医療機関等において診療を受けようとするときには、必ずこの証をその意図で渡してください。

住所

備考

※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。  
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。  
3. 私は、臓器を提供しません。  
【訂正】訂正を記入した上で、「提供したくない臓器があれば、×をつけてください。」

【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

特記事項

氏名

署名年月日 年 月 日

本人署名(自筆):  家族署名(自筆):

寄付や賛助会への入会もその1つ。ご寄付をいただいた場合、特定公益増進法人への寄付金として、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは右記へお問い合わせください。


臓器移植やご支援に関するお問い合わせ  
(公社)日本臓器移植ネットワーク  
☎0120-78-1069  
<http://www.jotnw.or.jp>





臓器移植に関するご質問・お問い合わせ先

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

 0120-78-1069 (平日 9:00-17:30)